



かがやき

第5号

発行 平成16年12月1日

茨城県立図書館

ボランティア協議会広報委員会

文責 黒沢 英宣

目次

みんなおいでよ楽しいよ
～いばらき読書フェスティバル2004開催～
ロングラン児童サービス
～初の試み【休みなしロングラン】～
ボランティア探訪記
～三の丸書庫～
16年度上半期の活動をふり返って
アンケートのお願い



みんなおいでよ楽しいよ



・ いばらき読書フェスティバル2004開催 ・

10月24日(日)、秋天の下、読書フェスティバルが開催されました。

三の丸広場には出店が所狭しと並び、若



い人や家族連れで賑わっていました。

地域伝統全国フェスティバルのサブ会場になっているステージでは、高校生の吹奏楽団によるジャズ演奏や伝統芸能の公演もありました。10時から視聴覚ホールでオープンセレモニー、読書感想文コンクール入賞者表彰式や朗読、山村暮鳥生誕120年記念シンポジウムなど多彩なプログラムが繰り広げられました。

ホールの受け付け、会場内の誘導などボランティアの協力は欠かせないものになっています。ブック・マーくんは人気者、写真撮影や子どもとの握手などにひっぱりだこでした。着ぐるみのなかのボランティア

の方も、重い衣装と暑さでお疲れだったことでしょう。

ボランティアによる喫茶コーナーも開店、コーヒー100円、ジュース100円、テントで寛ぐ人達の和やかな表情はスタッフの行き届いたサービスのあかしでしょうか。子ども達の歓声があがる一方で、静かに紙芝

居に見入る子どももあり、それぞれの楽しみの中で広場は活気にみちていました。

この日、9,500人の参加がありました。ボランティアの皆様ご苦労様でした。

〔鶴丸 優美子・金澤 鈴枝〕



表彰を受ける子どもたち（オープニング・セレモニーにて）



ロングラン児童サービス



初の試み【休みなしロングラン】

10時25分、1F子ども図書室で呼び込み第一声。10時30分から午後3時まで、落語の寄席なみに休憩なしのロングランサービスの腹づもりでスタート。聴衆の子ども達、親、祖母の方々は増え、まもなく20人近くになった。

これに元気を得て、1時間半、正午を過ぎるとさすがに子ども二人になってしまった。やむなく、12時15分から休憩とし同



読み聞かせ中のボランティアと子どもたち

45分再開、午後3時まで話し手一同はハッスルした。

あまりの熱心な読み聞かせに、幼い女児が「こわーい」と泣き出すハプニング。これには参ったが、無事お祭り参加の児童サー

ビスは定刻に幕。いささかの疲労感が心地良いものだった。日曜日の午後のサービスは90～120分とすることがこれからの課題。

〔上條 哲〕

ボランティア探訪記

*** 三の丸書庫 ***



皆さんは「三の丸書庫」をご存知ですか？

私はこの4月から、ボランティア活動を始めましたが、それまで全く知りませんでした。本当は作業をしているところに伺いたかったのですが、伺った時には残念ながら作業は終了していました。

そこで今回は、「三の丸書庫」のボランティアとして活動しておられる小松崎さんにお話をお伺いしました。現在、活動は月に10回位、6～7名の方が主に午前中参加しています。「三の丸書庫」は一般貸し出しは行っていません。図書館・公民館・老人福

祉施設等へ6ヶ月単位で貸し出しています。

活動内容は、移動図書館の本を準備したり、「小学校の総合学習にむいた本」とか「環境問題」「福祉問題」とテーマが指定されることもあるので、それぞれに応じた選本を行います。図書が戻されると配架・傷んだ図書

の修理も行います。

「三の丸書庫」には古い本が多く、シールの貼り付け等の仕事も行っていきます。ボランティアの方がもう少し増えてくれると助かるとの事です。皆さんも参加してみませんか。

〔吉田 妃佐子・佐藤 裕子〕

16年度上半期の活動を振り返って

新しい仲間を迎えて半年。委員長の皆様にそれぞれの活動の様子を伺いました。3つの質問に答えていただきました。

これまでの活動の概要

活動の問題点

今後の計画

代読サービス



- ・本年度上半期はコンスタントに利用があり、良好と思います。
- ・外国人留学生(ウクライナ)に代読サービスのボランティア体験をしてもらいました。
- ・各自の勉強が大切と思います。図書館で行われている講師による勉強会を定期的実施する必要があります。
- ・各自が口こみでPRできればと思います。一応PRしていただいておりますが、知らない方も多と思います。たゆまずPRする事だと思います。

環境美化

- ・パンフレットの整理
- ・屋外のごみ拾い
- ・参加人数が少ないので全体の活動回数が少ない。
- ・これまで通りパンフレット整理、ごみ拾いを継続して行う。



特技を生かしたもの

- ・パソコンによるボランティア広報誌の編集
- ・パソコン研修会指導(1~2週間に一回)
- ・子供フェスティバルの支援
- ・活動のニーズは多々あると思われるがPR不足で活発な活動に至っていない。
- ・パソコン研修会指導の継続
- ・図書館内の業務の中で、或いはボランティア活動の中で、パソコンに関する事で支援できることがあれば何でもやりたい。



三の丸書庫

- ・一般図書書架の分類整理（著者名、その他）
- ・児童図書書架の分類整理（発行所別、その他）
- ・バーコード登録済図書の県立図書館表示ラベルの貼付
- ・活動日程・移動図書等の整理手順の調整
- ・貸出先のニーズの把握とその対応
- ・効率的な整理方法とその実施
- ・破損した図書の修理作業の拡大・強化



イベント



- ・イブニングシアター、ライブラリーシアター、放送大学ライブラリー、講演会などの運営補助
- ・IT 講習会、わくわく三の丸塾などの講習会の運営補助
- ・子ども読書フェスティバルの運営補助
- ・ボランティアの参加は 100%本人の自主性に任せられ、自由に活動できるのが特徴ですが、一度も参加しないボランティアの方もおられるのは少し寂しい気がします。
- ・活動に伴う経費の発生はほとんどないようですが、今後の活動内容に応じては環境の整備が必要になってくるかもしれません。
- ・シアター、コンサートなどの催し物、IT 講習会、高校生の朗読訓練講座講習会などの運営補助
- ・いばらき読書フェスティバルの運営補助
- ・来年 10 月の全国図書館大会の運営補助

外国語資料整理

- ・児童資料の整理
- ・寄贈資料・購入資料のデータ作成
- ・外国語資料の推薦
- ・特になし
- ・児童資料の整理
- ・寄贈資料・購入資料データ作成
- ・外国語資料の推薦



図書修理



- ・ 常時5～7名で活発に仕事をしております。
- ・ 特にありません。
- ・ 特にありません。

資料配架



- ・ 返却された資料の書架戻し
- ・ 書架を回って配架の乱れを直す
- ・ 各自都合の良い時間に活動しているため、互いに面識がなく問題点などを話し合う機会がないこと。
- ・ 図書館職員と話し合う機会もほとんどないので、我々の活動がどう評価されているのか、職員の要望などはないのか、などが何もわからないこと。
- ・ 意見交換の場を持ち、ボランティア間の交流を深める。
- ・ より効率的な活動体制を作る。活動曜日・時間割り振り・班編成等を検討して、人数のムラをなくしたい。
- ・ 図書館職員との意見交換の場を持ちたい。

編集後記

図書館では今回の読書フェスティバルを始めとして、色々な企画があり、ボランティアとして参加する場がたくさんあります。又、一般の人が入らない「三の丸書庫」で黙々と活動しているボランティアの方もおります。広報として色々な活動を報告出来ればと思っております。

〔佐藤 裕子〕

